

国内新造調査船

誌名	水産海洋研究会報
ISSN	03889149
著者	宇田, 道隆
巻/号	3号
掲載ページ	p. 143-144
発行年月	1963年9月

農林水産省 農林水産技術会議事務局筑波産学連携支援センター
Tsukuba Business-Academia Cooperation Support Center, Agriculture, Forestry and Fisheries Research Council
Secretariat



分科会 2 : プラットホーム、繫留、関係測器の大観 (測器つり下げ、供給動力等) 。

分科会 3 : 無人観測所からのデータの処理、換算、解析、使用、記録形式、必要施設と幹部

分科会 4 : 測器細目、受感部、伝達部、記録部、テレメーターリング (大気海洋要素向) 。（数十頁の詳しい報告があるが省略）

8 国内新造調査船

宇田道隆 (東京水産大学)

(1) 淡青丸 (東京大学海洋研究所研究船)

昭和 58 年 3 月 1 日進水 (三菱造船下関造船所) 250 トン
1 万メートル深海用ウインチ (テーパーワイヤー、末端 3.3 mm)、
6000 m、中深海用ウインチ (9.1 mm、採泥その他)。1000 m トロ
ールウインチ、G.E.K.、ラインホーラー (ナイロンザイル使用)、P.D.
R (13000 メートル 測深可能な精密音響測深装置)、人工地震、海上
重力計、海上磁力計、地熱測定、浅海底下の地殻構造、スパーカー
新設備……三翼可変ピッチプロペラ装着バウスラスタ (微速下船
位を変えること容易) 船の運転系統に多くオートマチックコントロー
ルとり入れた研究室中央部の机は取外しでき、天井にとどくパネルをと
りつけ、自記器その他を固定させる。飼育槽、暗室兼滅菌室、冷房、暖
房装置

(2) 高風丸 (函館海洋气象台観測船)

夕汐丸の代船として今年 3 月竣工 (石川島播磨造船所) 総トン数 33
5 トン、(650 H P) 全長 47 m、航海速力 11 ノット、海況、海霧

と共に海水も調べるので耐氷型。

G E K、8000m深海音響測深機、前部に8000mテーパードワイヤ
ー付深海用電動ウインチ、後部に3000mワイヤー付電動ウインチ、B
T、自記水温計、サリノメーター、ロラン、レーダー、ジャイロコンバ
ス等。

(3) 神 鷹 丸 (東京水産大学練習船)

昭和38年4月20日竣工(下関林兼造船株式会社)。総トン数38
2.07トン、長さ42m最大船速13.39ノット、航続距離8,500浬
水中観測窓2個、音響測深機1万m(1)、1000m(1)、G E K油圧式1
5HPウインチ(3500m)等、士官8、教官2、属員14、学生44、

(4) 明 洋 (海上保安庁水路部測量船)

昭和38年3月15日竣工(名古屋造船株式会社)は500トン型と
しての代船で、排水量485.77トン、全長44.5m、700P.S.
速度(最大)1.2ノット、油圧式77P.S.ウインチ(8000m)
G E K、精密自動塩分計など。

9 外国新造調査船

宇 田 道 隆 (東京水産大学)

(1) 米国水産海洋調査船 Albatross. IV 新造

米国は最近議会への報告に水産海洋調査振興により、かつて日本に次
ぐ生産をあげていたのが現在日本、ソ連、中共、ベルーに次ぐオ4位に
落ちたのを挽回しようと、La Jolla(加州)、Ann Arbor(ミシガ
ン)、Beaufort(ノース・カロライナ)、Seattle(ワシントン州)
の水産研究所充実に加えて、海軍大型曳船2隻に新造船Albatross IV